

暖房時に水平に風を吹き出し、壁に沿って床面に届く気流で足元からすばやくムラなく暖める

**店舗・オフィス用エアコン『FIVE STAR ZEAS』シリーズを新発売**

ダイキン工業株式会社は、店舗・オフィス用エアコン『FIVE STAR ZEAS(ファイブスターゼアス)』シリーズ(全12タイプ、368機種)のモデルチェンジを実施し、2016年2月1日より発売します。

本商品は、気流を下方向に吹き出していた従来の天井カセット形エアコンの暖房方法を根本から見直し、水平方向に吹き出す新たな気流方式を採用しました。水平方向に強く吹かれた気流は壁面まで到達し、壁面に沿って床面まで流れたあと、床全体にすばやく広がります。その結果、「足元が寒い」「なかなか暖まらない」という従来の課題を解消し、快適な暖房空間を実現しました。

また、お客様ごとの多様なニーズに応えるため、内装にこだわるお客様に向けたフラットなデザインの「デザイナーズパネル」や、部屋の形状に合わせて風量や風向を調整できるオプション品も新たにラインアップします。



**【商品の特長】**

- 1. 業界初<sup>※1</sup>、「アクティブ・サーキュレーション気流」で足元から暖かい暖房を実現**
  - ・水平方向に吹き出された気流が壁面に沿って床全体に広がり、足元が従来に比べて1℃暖かい<sup>※2</sup>
  - ・壁や窓から侵入してくる冷気を防ぎ、室内が暖まるまでの時間を約10%短縮<sup>※2</sup>
  - ・足元や部屋の隅まで暖まりやすく、温度ムラが軽減されるため約15%省エネ<sup>※2</sup>
- 2. 業界初<sup>※3</sup>、フラットデザインを採用した「デザイナーズパネル」をラインアップ**
  - ・業界初の全面フラットな形状のパネルで、インテリアに調和するデザインを実現
  - ・吸込み口に格子がないため、ホコリの付着も目立ちにくく清潔感が長持ち
- 3. エアコン設置後、現地に合わせて風量や風向を調整できる新たなオプション品を用意**
  - ・装着することで、その吹き出し口だけ風を弱めることができる「風量調整キット」
  - ・風を送りたい方向に気流を変化させ、通常では届きにくい場所へ風を届ける「風向調整キット」
  - ・お客様の近くに置くことで、その周囲の温度でエアコンを制御する「ワイヤレス温度センサー」

**【価格、発売時期】<sup>※4</sup>**

代表的な室内機（S-ラウンドフロータイプ、エコパネル）の接続時

相当馬力	機種名 ※( )は単相機	希望小売価格(税別)	発売日
1.5馬力	SSRC40BAT(V)	730,000円	2016年 2月1日
1.8馬力	SSRC45BAT(V)	778,000円	
2馬力	SSRC50BAT(V)	822,000円	
2.3馬力	SSRC56BAT(V)	871,000円	
2.5馬力	SSRC63BAT(V)	916,000円	
3馬力	SSRC80BAT(V)	989,000円	
4馬力	SSRC112BA	1,128,000円	
5馬力	SSRC140BA	1,326,000円	
6馬力	SSRC160BA	1,441,000円	

※1 2015年11月11日現在 店舗・オフィス用エアコンの4方向カセット形室内機において、暖房時に2方水平吹きと4方下吹きを組み合わせた方式を採用

※2 当社従来機(SSRC80BT)と新商品(SSRC80BAT)との比較。当社モデル空間(7.5m×7.5m×2.6m)での試算。足元温度は床上0.6mの平均温度での比較、暖まるまでの時間は床上0.6mの平均温度が運転開始(5℃)から設定温度(22℃)に達するまでの運転時間。風量・風向は従来機:急・下吹き、新商品:アクティブ・サーキュレーション気流

※3 2015年11月11日現在 店舗・オフィス用エアコンの4方向カセット形室内機において格子状の吸込みグリルのないパネルを採用

※4 デザイナーズパネルは2016年2月20日、風量調整キットは2016年2月1日、風向調整キット・ワイヤレス温度センサーは2016年5月発売予定

## 《特長詳細》

### 1. 足元から暖かい暖房を実現する「アクティブ・サーキュレーション気流」

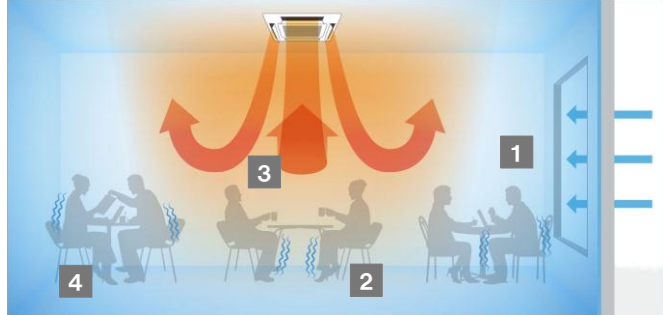
暖かい空気は天井方向へと上がっていく性質があるため、これまで天井カセット形のエアコンの暖房は、下方向にいかにも強く気流を吹き出すかが重要とされてきました。本商品はその考えを根本から見直し、3つの技術（「ワイドフラップの採用」「吹出し角度の最適化」「2方吹きによる風速アップ」）を搭載することで、気流を水平方向に強く吹き出し、壁面に沿って床面まで届け、足元から暖かい暖房を実現します。「アクティブ・サーキュレーション気流」では、水平吹きの気流に下向きの気流を効率的に組み合わせ、すばやくムラのない暖房を実現します。

「アクティブ・サーキュレーション気流」は冷房時にも効果を発揮します。より水平に遠くまで届くようになった気流が冷房時も室内の温度ムラを軽減します。

#### ■従来の暖房と「アクティブ・サーキュレーション気流」との違い

<従来の暖房>

1. 外の冷気が窓・壁から伝わるから 窓際・壁際が寒い
2. 暖気が床まで届きにくいから いつまでたっても足元が寒い
3. 暖気が直接人に当たるから エアコンの風あたりが不快
4. 暖気が隅々に広がらないから 暖まるのが遅い

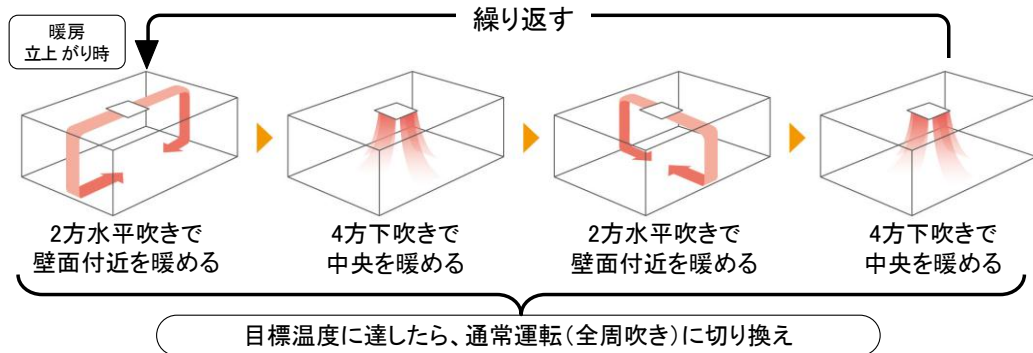


<アクティブ・サーキュレーション気流>



#### ■「アクティブ・サーキュレーション気流」の仕組みと技術

<アクティブ・サーキュレーション気流の仕組み>



◆さらに2つのセンサーで賢く制御を行います。

人検知センサー	「下吹き」のときに、人検知センサーが人のいるエリアを検知すると、そのエリアの風向を変えて風あたりを軽減します。
床温度センサー	床温度センサーが足元付近の温度をチェックし、目標温度に達したら自動で全周吹きに切り換えます。(床温度が目標温度から乖離したら、再びアクティブ・サーキュレーション気流に戻ります)

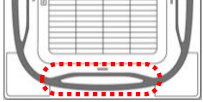
## <アクティブ・サーキュレーション気流を実現する技術>

「まっすぐ」「水平に」「強く」吹き出す3つの技術で、気流を遠くまで飛ばすことを実現。

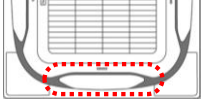
### 1 新ワイドフラップ採用

フラップ面積を従来の約2倍に拡大

<従来機>




<新商品>



### 天井汚れを防止する新ワイドフラップの構造


フラップの両端を細くし、天井汚れの原因となるフラップ両端の気流を下方に逃がします。



### 2 吹出し角度の最適化

吹出し角度をより水平に近い20°に設定


<従来機>



30°

20°にすると吹出し口が狭くなってしまう

<新商品>




20°

20°にしても十分な気流経路を確保


### 3 2方吹きで風速アップ

2方吹きにすることで、風速を10%アップ

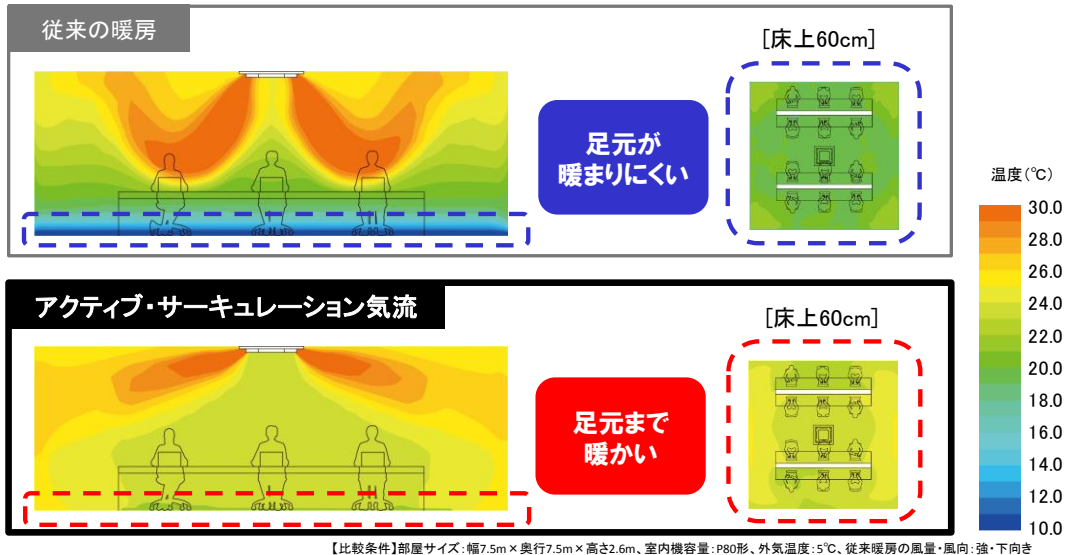
<全周吹き>



<2方吹き>



## ■従来の暖房と「アクティブ・サーキュレーション気流」の効果の比較

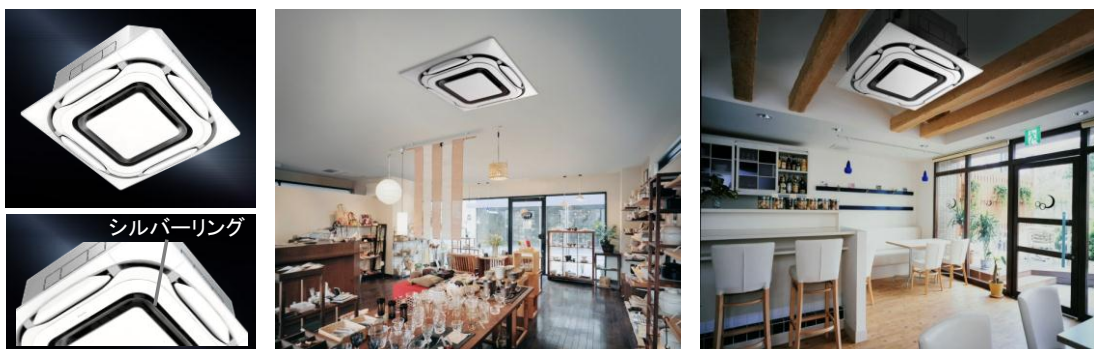


## 2. フラットデザインを採用した「デザイナーズパネル」

天井カセット形エアコンは、店舗やオフィス等で最も多く普及しているタイプの室内機ですが、デザイン性については過去から大きく変化がありませんでした。今回、内装にこだわるお客様向けに、これまで一般的だった格子状の吸込み口を一新した、デザイン性の高いフラットなパネルシリーズをラインアップしました。フラットなデザインを採用することで、格子状の吸込口に挟まったホコリが目立つこともなく清潔感を長く保つこともできます。

従来、パネルをフラットにするとどうしても吸込み口の面積が小さくなってしまったため、吸込み風量の確保が課題となっていました。本商品では吸込み口をラウンド状に配置し、その吸込み口にシルバー色のリングをデザインすることで、シンプルな外観でありながら吸込み風量も確保し、デザイン性と性能の両立を実現しました。

### ■デザイナーズパネル 商品イメージ



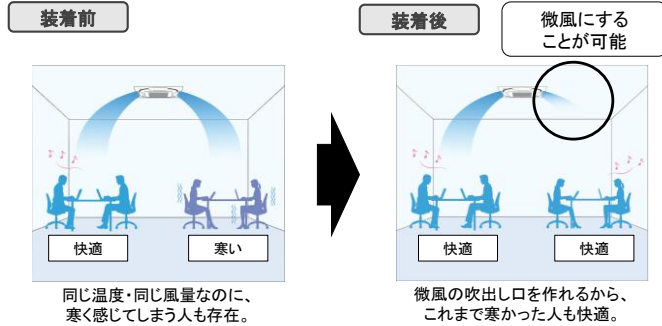


### 3. 現地に合わせて風量や風向を調整できる新たな「オプション品」

エアコンが設置される部屋は、L字型や縦長など様々な形状が存在します。また、設置後も、レイアウトの変更など使用状況が変化することもあります。そこで本商品では、エアコン設置後にお客様の環境に合わせて細かな調整ができるオプション品をラインアップしました。お客様の様々な設置状況・使用状況に合わせて快適な空間を実現します。

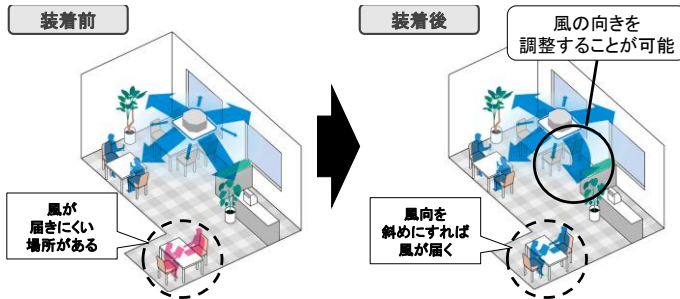
#### ■ オプション品 商品イメージ

##### <風量調整キット>



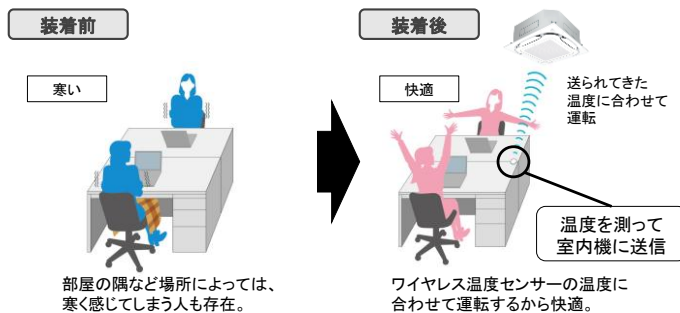
吹き出し口に装着することで、風を弱めることができる「風量調整キット」。1台のエアコンでも、通常の吹出口と微風の吹出口を作り出すことが可能です。

##### <風向調整キット>



部屋の形状などで風が届きにくい場合、外付けで風の向きを調整できる「風向調整キット」。斜め方向など自由な方向へ風が届けることが可能です。

##### <ワイヤレス温度センサー>



通常、室内機もしくはリモコンで行う室温の検知を、好きな場所から行える「ワイヤレス温度センサー」。その空間を最適温度にするようエアコンが運転します。

## 《その他の特長》

### 1. インバータエアコンからの更新でも約70%省エネ

直径1mm未満の冷媒流路を多数設けたオールアルミ製の「ダブルマイクロチャンネル熱交換器」により、室外機の設置寸法を大きくせず高い省エネ性を実現しています。インバータエアコンからの更新でも最大約70%※5の消費電力量を削減します。

### 2. 新冷媒 HFC-32 を採用

2015年4月に施行されたフロン排出抑制法では、店舗・オフィス用エアコンの製造業者に対して、使用フロン類による環境影響度低減への取り組みと、加重平均で2020年度にGWP750以下という目標値の達成を求めています。当社は2013年から業界に先駆けて環境負荷の少ない※6冷媒であるHFC-32を採用し、本商品でもHFC-32を採用しています。また、HFC-32に対応した室内機タイプは業界最多※7のラインアップをそろえています。

※5 当社インバータ機 (RZYJ140K) と新商品 (SSRC140BA) との比較。更新前空調機がメンテナンスを行っていない場合の経年劣化(汚れ等)、1年間フィルター清掃しない場合の目詰まりによる電力量悪化を推定し試算したものの、FIVE STAR ZEASの消費電力はEco全自動モード、OSCAR制御、フィルター自動清掃の効果も反映したもの。JIS B8616:2015(東京・店舗)に基づく「APF(2015)算出」における年間消費電力量の削減において

※6 出典:「IPCC第4次評価報告書」温暖化係数(GWP)。温暖化係数2,090(HFC-410A)と675(HFC-32)の比較。

※7 2015年11月11日現在 店舗・オフィス用エアコンにおいて